

役員一覧

[トップ](#) > [信州大学について](#) > [大学概要・理念](#) > [役員一覧](#)

- [▼ 学長・理事・副理事・副学長・監事](#)
- [▼ 教育研究評議会](#)
- [▼ 附属図書館](#)
- [▼ 総合健康安全センター](#)
- [▼ 総合情報センター](#)
- [▼ 人文学部](#)
- [▼ 教育学部](#)
- [▼ 経法学部](#)
- [▼ 理学部](#)
- [▼ 医学部](#)
- [▼ 工学部](#)
- [▼ 農学部](#)
- [▼ 繊維学部](#)

学長・理事・副理事・副学長・監事

| 役 職 | 氏 名 | |
|-----------------------------------|----------------------|-----------------------|
| 学長 | 濱田 州博 (はまだ くにひろ) | 経歴等 ▶ |
| 理事(教務、学生、入学試験、附属学校担当)、副学長 | 平野 吉直 (ひらの よしなお) | 経歴等 ▶ |
| 理事(経営企画、総務、情報担当)、副学長(特命戦略(大学院)担当) | 武田 三男 (たけだ みつお) | 経歴等 ▶ |
| 理事(研究、産学官・社会連携担当)、副学長 | 中村 宗一郎 (なかむら そういちろう) | 経歴等 ▶ |
| 理事(病院、保健管理担当)、副学長(特命戦略(地域医療)担当) | 川真田 樹人 (かわまた みきと) | 経歴等 ▶ |
| 理事(財務、環境施設担当) | 小宮山 啓太郎 (こみやま けいたろう) | 経歴等 ▶ |
| 理事(特命戦略(大学経営力強化)担当) | 浜野 京 (はまの みやこ) | 経歴等 ▶ |
| 副理事(特命戦略担当)、副学長(特命戦略担当) | 樋口 聰 (ひぐち あきら) | 経歴等 ▶ |
| 副学長(広報担当) | 徳井 丞次 (とくい じょうじ) | 経歴等 ▶ |
| 副学長(学術情報担当) | 渡邊 匡一 (わたなべ きょういち) | 経歴等 ▶ |
| 副学長(企画総括、点検評価担当) | 市川 元基 (いちかわ もとき) | 経歴等 ▶ |
| 副学長(国際交流担当) | 田中 清 (たなか きよし) | 経歴等 ▶ |
| 副学長(国際科学イノベーション拠点、特命戦略(航空宇宙)担当) | 半田 志郎 (はんだ しろう) | 経歴等 ▶ |
| 監事 | 北原 政彦 (きたはら まさひこ) | 経歴等 ▶ |
| 監事 | 原 智子 (はら ともこ) | 経歴等 ▶ |

※本表は、下記に基づき公表しています。

1. 国立大学法人法(平成15年法律第112号)第13条第2項[理事の公表]
2. 独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律(平成13年法律第140号)第22条第1項[役員の氏名等の情報提供]
3. 独立行政法人等の役員に就いている退職公務員等の状況等については、特殊法人等整理合理化計画(平成13年12月19日閣議決定) III-4-(2)-二、および、公務員制度改革大綱(平成13年12月25日閣議決定)II-3-(2)-⑥-ア

学長

トップ > 信州大学について > 大学概要・理念 > 役員一覧 > 学長

濱田 州博



| | |
|-------|------------|
| 役職 | 学長 |
| 就任年月日 | 平成27年10月1日 |

この度、平成27年10月1日付で信州大学学長に就任致しました。信州大学発展のために微力ながら尽力していきたいと考えておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

信州大学は、長野市、松本市、上田市、上伊那郡南箕輪村の4市村に5つのキャンパスを有し、人文、教育、経済(平成28年4月より経法)、理学、医学、工学、農学、繊維の8学部からなる総合大学です。長野県の北信地域、中信地域、東信地域、南信地域にキャンパスがあるため、様々な地域と多様な連携を行っております。また、約11,000名の学部生・大学院生と約2,500名の常勤教職員がキャンパスに集っており、長野県の人口約210万人に占める割合はかなり高く、その意味でも今後一層の連携が必要であると考えております。

一方、国立大学法人が平成16年度に発足して以来約12年が経過し、グローバル化、少子高齢化の進展等、国立大学法人を取り巻く環境は大きく変化しており、法人化の長所を生かした改革を本格化する必要に迫られています。客観的データに基づき各大学の強み・特色・社会的役割を整理した「ミッションの再定義」が行われ、社会の変化に対応できる教育研究組織づくり(組織再編、予算、人材や施設・スペース等の再配分)が各国立大学法人で行われています。信州大学においても、教員組織である学術研究院の設置、信州大学の特色ある研究領域をさらに先鋭化させるための先鋭領域融合研究群の設置、理学部、農学部、教育学部、工学部、繊維学部の改組、経済学部の経法学部への改編、教職大学院の新設、理工学系および農学研究科の総合理工学研究科への統合再編、年俸制を含む教員給与制度の改革等、大学改革が進行しています。今後とも着実に大学改革を実行していきたいと考えております。

大学が目指すべきは、その大学で学んでみたいと思ってもらふことだと考えております。そのためには、教育・研究の充実はもちろんのことですが、住環境も重要だと思います。幸い長野県の町々は魅力的な住環境を有しております。その点も活かした大学の魅力づくりができればと考えております。

魅力ある信州大学でのびのびと学び、卒業後は魅力ある社会づくりに独創性を持って貢献する人材を排出していきたいと考えており、教職員一丸となって努力していく所存です。ステークホルダーの皆様の変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。

平成27年10月 濱田 州博

経歴

| | |
|----------|------------------------------|
| 昭和57年 3月 | 東京工業大学工学部高分子工学科卒業 |
| 昭和59年 3月 | 東京工業大学大学院理工学研究科高分子工学専攻修士課程修了 |
| 昭和62年 3月 | 東京工業大学大学院理工学研究科高分子工学専攻博士課程修了 |
| 昭和62年 4月 | 通商産業省工業技術院繊維高分子材料研究所研究員 |
| 昭和63年 6月 | 信州大学繊維学部助手 |

米国ノースカロライナ州立大学繊維学部客員研究員(平成8年2月まで)

| | |
|-----------------|--------------------------------------|
| 平成 7年 3月 | |
| 平成 8年 4月 | 信州大学繊維学部助教授 |
| 平成14年10月 | 信州大学繊維学部教授 |
| 平成18年 7月 | 信州大学繊維学部学部長補佐(平成20年3月まで) |
| 平成20年 4月 | 信州大学評議員(平成22年3月まで) |
| 平成22年 4月 | 信州大学繊維学部長(平成27年9月まで) |
| 平成23年10月 | 信州大学学長補佐(平成24年10月まで) |
| 平成24年 6月 | 信州大学副学長(平成27年9月まで) |
| 平成25年 4月 | 信州大学大学院 理工学系研究科長(工学系研究科長)(平成27年3月まで) |
| 平成26年 3月 | 信州大学 先鋭領域融合研究群長(平成27年9月まで) |
| 平成26年 4月 | 信州大学学術研究院 繊維学系長(平成27年9月まで) |
| 平成26年 4月 | 信州大学学術研究院 教授(繊維学系)(平成27年9月まで) |
| 平成27年 4月 | 信州大学大学院 総合工学系研究科長(平成27年9月まで) |
| 平成27年10月 | 信州大学学長(現職) |

理事（教務、学生、入学試験、附属学校担当）、副学長

トップ > 信州大学について > 大学概要・理念 > 役員一覧 > 理事(教務、学生、入学試験、附属学校担当)、副学長

平野 吉直



| | |
|-------|---------------------------|
| 役職 | 理事(教務、学生、入学試験、附属学校担当)、副学長 |
| 就任年月日 | 平成27年10月1日 |

平成27年10月1日付けで、理事(教務、学生、入学試験担当)・副学長を拝命いたしました。信州大学においてこれまでにない大きな教育改革が進められている中、教務・学生・入試という重要な業務を担当することとなり、その役割と任務の重さに身が引き締まる思いです。学内外の皆様のご協力をいただきながら、本学の充実・発展のために全力を尽くし、職責を果たしていく所存です。

少子化に伴う18歳人口のさらなる減少は、大学教育の質保証と密接に関係し、大学経営や大学の存在そのものにも影響を及ぼすとされています。そうした情勢の中で、優れた人材の育成と社会への輩出という大学の使命を果たすためには、社会の変化を的確に捉えた教育内容の見直しと充実が極めて重要であると認識しています。豊かな教養と人格、深い専門的な知識・技能を備え、常に前向きに学び続けることができる人材を育成するための教育内容、教育方法、教育システムの改善に向け努力していきます。

また、信州大学に入学したすべての学生が、快適なキャンパスライフを送るとともに、優しさと逞しさを備えて元気に社会へ羽ばたいていけるよう、学生生活の支援、就職活動の支援、キャリア形成の支援、課外活動や地域におけるボランティア活動の支援、メンタルヘルス等の相談、障害のある学生への支援など、学生支援体制・学生相談体制の充実を図っていくつもりです。

入学試験に関しては、現在国が進めている高等学校教育の改革、高大接続システムの改革、特に「大学入試センター試験」に代わり2020年度から開始予定の「大学入学希望者学力評価テスト(仮称)」の動向を視野に入れ、新たな大学個別選抜試験の在り方を慎重かつ早急に検討していくことが喫緊の課題であると認識しています。アドミッションセンターを中心に、全学の皆様方の力を結集し、信州大学らしい大学個別選抜試験の構築に向けて努力します。

皆様方のご支援・ご協力を重ねてお願い申し上げます。

平成27年10月 平野 吉直

経歴

| | |
|----------|---------------------------|
| 昭和54年 3月 | 筑波大学体育専門学群 卒業 |
| 昭和57年 3月 | 筑波大学大学院修士課程体育研究科 修了 体育学修士 |
| 昭和59年 5月 | 筑波大学体育科学系 文部技官 |
| 昭和61年 4月 | 国立那須甲子少年自然の家事業課 文部事務官 |
| 平成 3年 4月 | 国立那須甲子少年自然の家事業課 業務係長 |
| 平成 5年 7月 | 文部省生涯学習局青少年教育課専門職員 |
| 平成 6年 4月 | 文部省生涯学習局青少年教育課 青年教育係長 |

| | |
|-----------------|--------------------------------------|
| 平成 9年 4月 | 信州大学教育学部 助教授 |
| 平成15年 4月 | 信州大学教育学部 教授(現職) |
| 平成21年 4月 | 信州大学評議員(平成22年3月31日まで) |
| 平成22年 4月 | 信州大学教育学部長(平成27年12月31日まで) |
| 平成26年 4月 | 信州大学学術研究院教育学系長(平成27年12月31日まで) |
| 平成27年10月 | 信州大学理事・副学長(現職) 信州大学教育・学生支援機構長(現職) |

理事（経営企画、総務、情報担当）、副学長（特命戦略（大学院）担当）

トップ > 信州大学について > 大学概要・理念 > 役員一覧 > 理事（経営企画、総務、情報担当）、副学長（特命戦略（大学院）担当）

武田 三男



| | |
|-------|-----------------------------------|
| 役職 | 理事（経営企画、総務、情報担当）、副学長（特命戦略（大学院）担当） |
| 就任年月日 | 平成27年10月1日 |

平成27年10月1日付けで、濱田学長より、理事（経営企画、財務、情報担当）・副学長を拝命いたしました。皆様のご指導とご協力をいただきながら、本学の充実発展のために全力を尽くします。よろしくお願い申し上げます。

第二期中期目標・中期計画期間の後半から第三期期間前半にかけては「大学改革実行プラン」の加速期間と位置付けられ、大学からの独創的かつ成果が見込まれる大学改革の提案について運営費交付金等による恒常的な支援が用意されています。また、来年度から大学を機能強化別に3カテゴリーに分類し、運営費交付金は異なる評価基準のもとに配分されることになりました。一方で、一般運営費交付金総額は、第三期期間中も年マイナス1.3%の大学改革促進係数により削減されていきます。これからの数年間は信州大学の進むべき道を決定づける極めて重要な時期となります。改めて責務の重さを感じております。

1) 経営企画について：経営企画の主な職務は、組織改革と部局間調整です。組織改革では、ミッションの再定義を踏まえて平成27年度に理学部と農学部が改組されました。平成28年度には工学部、繊維学部の改組と経法学部、総合理工学研究科および教職大学院の設置が決まっています。これらの改革は、本学の特色と強みを生かし、地域や国際貢献等社会の要請に応える人材を育成する教育を実施するための組織改革です。残されているのは、学士課程では人文学部、修士課程では文系大学院の再編、そして博士課程では総合工学系と医学系研究科の改編です。どれをとっても、本学の将来を決める極めて重要な課題です。また、総合大学としての要となる1年次生の教育を支える全学教育機構の改組と学部・大学院を通じてのグローバル教育の充実も急務の課題です。教学担当理事と関係部局長のご協力をいただきながら、全学のコンセンサスを心得て改革を進めていきたいと考えています。

2) 財務について：一般運営費交付金の配分と削減が機能強化別重点支援3カテゴリーによってどのように変わるかを見極めながら、本学の選択したカテゴリー「重点支援①」の評価基準に対応した長期的な財務計画を策定しなければなりません。財務運営には、教育・研究費、人件費、管理運営費と戦略的経費のバランスの上で、教育の質保証の担保と研究の質と量の充実・向上を支える企画が不可欠と考えています。このためにも、個別研究と先鋭領域研究群へのバランスの取れた支援が必要です。また、具体的な外部資金等の収入増と学内経費の削減策の再検討を含めた総合的な財務戦略が不可欠です。研究担当理事、総務担当理事、大学経営力担当理事と協力しながら財務経営を進めます。さらには、本学全体の総予算の50%以上を占める附属病院の健全な経営が極めて重要なことは言うまでもありません。病院担当理事に協力して課題を解決して行きたいと考えています。

3) 情報について：喫緊の課題である情報セキュリティへの組織的な対応を可能とする体制を構築したいと考えています。また、長期的には大学全体として教育、研究、財務等の情報を一元化した、いわゆるインスティテュート・リサーチ(IR)システムの構築が急務です。総務担当理事、教学担当理事と協力して、総合情報センターを中心に関係部局と協議しながら、アドミッションから、学部・大学院教育プログラム、キャリアサポート、そして卒業生の就職後の状況にいたるまでの情報管理システムの構築を目指します。様々な課題解決に対応可能なシステムを構築したいと考えています。

全学の教職員の皆様のご協力をいただきながら、微力ではありますが、信州大学人としての矜持を持って母校の発展のために全力を尽くして参ります。ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

平成27年10月 武田 三男

経歴

| | |
|----------|--|
| 昭和44年 3月 | 長野県立木曾西高等学校 卒業 |
| 昭和48年 3月 | 信州大学理学部物理学科 卒業 理学士 |
| 昭和50年 3月 | 新潟大学大学院 理学研究科修士課程 修了 理学修士 |
| 昭和53年 3月 | 名古屋大学大学院 工学研究科博士課程 修了 工学博士 |
| 昭和53年 4月 | 日本学術振興会 奨励研究員 |
| 昭和53年 7月 | 名古屋大学工学部 助手 |
| 昭和60年 4月 | 信州大学教養部 助教授 |
| 平成 7年 4月 | 信州大学理学部 助教授 |
| 平成 9年 5月 | 信州大学理学部 教授(現職) |
| 平成17年 6月 | 信州大学評議員 |
| 平成20年 4月 | 信州大学理学部長(平成26年3月31日まで) |
| 平成21年 4月 | 信州大学大学院総合工学系研究科長(平成23年3月31日まで) 信州大学大学院工学系研究科長(平成23年3月31日まで) |
| 平成24年 6月 | 信州大学副学長(現職) |
| 平成25年10月 | 信州大学理事(現職) |
| 平成26年 4月 | 信州大学学術研究推進機構長(平成27年9月30日まで) |
| 平成27年10月 | 信州大学理事・副学長(再任) |

理事（研究、産学官・社会連携担当）、副学長

トップ > 信州大学について > 大学概要・理念 > 役員一覧 > 理事(研究、産学官・社会連携担当)、副学長

中村 宗一郎



| | |
|-------|-----------------------|
| 役職 | 理事(研究、産学官・社会連携担当)、副学長 |
| 就任年月日 | 平成27年10月1日 |

平成27年10月1日付けで理事(研究、産学官・社会連携)及び副学長を拝命いたしました。本学の充実発展のために全力を尽くしたいと思います。よろしくお願いいたします。

本学は、文部科学省の国立大学改革に向けた新方針「三つの枠組み」において、重点支援①型(地域に貢献する取組とともに、専門分野の特性に配慮しつつ、強み・特色のある分野で世界・全国的な教育研究を推進する取組を中核とする国立大学を支援)を選択しました。今後は重点支援①型を選択した5大学の中で熾烈な競争が展開されるものと推測されます。皆様のご協力をいただきながら、私たちの教育研究活動が、少しでも高い評価が得られるよう最善を尽くします。

地域貢献においては、地域社会経済の活性化や地域医療に貢献するための教育研究環境の充実、地方公共団体等との連携、地域産業を担う高度な地域人材の育成等が求められています(まち・ひと・しごと創生総合戦略)。一方、学術研究においては、挑戦性、総合性、融合性、国際性を意識しながらも、本学の強み・特色のある分野での研究を進化/深化させ、他にはない、一味もふた味も違った卓越した知の創出を引き出すことが求められています。

ご承知のように、本学は、平成26年2月に世界の豊かな生活環境と地球規模の持続可能性に資することを目的に「アクア・イノベーション拠点」を、同年3月にはカーボン科学研究所、環境・エネルギー材料科学研究所、国際ファイバー工学研究所、山岳科学研究所及びバイオメディカル研究所の5つの研究所からなる「先鋭領域融合研究群」を設置しました。また、平成25年度の文部科学省「地(知)の拠点整備事業」への採択を受けて平成25年9月に「地域戦略センター」を、東日本大震災以降、防災・減災・災害支援のための新たな対策が行政や産業界で大きく進んでいることを受けて平成27年3月に「地域防災減災センター」を設置しました。

このような流れの中で、地域の特性を考慮しつつも、研究と産学官・社会連携の高次元融合により教育研究力のパワーアップに向けて前向きに取り組めます。こうして本学が社会の期待に応えることができるよう、また新たな時代を切り開くイノベーションの創出、地方創生の先導的役割を果たすことができるようベストを尽くします。

平成27年10月 中村 宗一郎

経歴

| | |
|----------|-------------------------------------|
| 昭和51年 3月 | 島根大学農学部農芸化学科 卒業 |
| 昭和51年 4月 | 宇部短期大学 助手 |
| 昭和56年 4月 | 宇部短期大学 講師 |
| 平成 3年 4月 | 宇部短期大学 助教授 |
| 平成 6年 3月 | 鳥取大学大学院連合農学研究科博士課程 修了 博士(農学) |
| 平成 6年 4月 | 宇部短期大学 教授 |
| 平成 6年 7月 | ブリティッシュコロンビア大学農学部リサーチフェロー(平成9年9月まで) |

| | |
|----------|--|
| 平成11年10月 | 島根大学 教授 |
| 平成12年10月 | ブリティッシュコロンビア大学大学院食料・栄養・健康部門アジャクトプロフェッサー(平成17年9月まで) |
| 平成17年 4月 | 信州大学農学部 教授(現職) |
| 平成21年 4月 | 信州大学評議員(平成22年1月31日まで) |
| 平成22年 2月 | 信州大学農学部長(平成28年3月31日まで) |
| 平成23年 4月 | 信州大学総合工学系研究科長(平成25年3月31日まで) |
| 平成23年10月 | 信州大学学長補佐(平成24年10月31日まで) |
| 平成24年 6月 | 信州大学副学長(現職) |
| 平成26年 4月 | 信州大学学術研究院農学系長(平成28年3月31日まで) |
| 平成27年10月 | 信州大学理事(現職) 信州大学学術研究推進機構長(平成28年3月31日まで) 信州大学産学官・社会連携推進機構長(平成28年3月31日まで) 信州大学先鋭領域融合研究群長(現職) |
| 平成28年 4月 | 学術研究・産学官連携推進機構長(現職) |

理事（病院、保健管理担当）、副学長（特命戦略（地域医療）担当）

トップ > 信州大学について > 大学概要・理念 > 役員一覧 > 理事（病院、保健管理担当）、副学長（特命戦略（地域医療）担当）

川真田 樹人



| | |
|-------|---------------------------------|
| 役職 | 理事(病院、保健管理担当)、副学長(特命戦略(地域医療)担当) |
| 就任年月日 | 令和2年4月1日 |

令和2年4月1日付で、理事(病院、保健管理担当)・副学長(地域医療担当)を拝命いたしました。県内唯一の特定機能病院である信州大学医学部附属病院(信大病院)は、長野県の医療における最後の砦であり、高度先進医療を通じて地域医療に貢献いたします。

信大病院の理念は、「診療・教育・研究を遂行する大学病院としての使命を有し、また患者さんの人権を尊重した先進的医療を行うとともに、次代を担う国際的な医療人を育てる」ことです。すなわち、最新の医学研究に裏付けされた高度先進的医療を地域の皆様に提供し、その研究成果を国内外に発信し、最新医療を担う医療人を育成するのが使命です。これからの医療は、iPS細胞などの再生医療、移植医療、免疫チェックポイント阻害薬などの新規抗がん剤によって、がんを始めとする多くの難治性疾患の治癒が視野に入ってきました。さらに、情報通信技術

(information and communication technology: ICT)、ロボティクス、人工知能(artificial intelligence: AI)、ビッグデータ解析、遠隔医療などが導入され、医療の進歩が加速しています。信大病院も特定機能病院として、医療分野のさらなるイノベーションを目指して、病院機能を強化し地域のニーズに十分答えられる医療体制を構築します。

一方、日本は少子高齢化により地域医療が変革を求められており、信大病院も例外ではありません。信大病院の理念の実現のためには、地域医療へのさらなる貢献を通じた経営安定化が不可欠です。そして盤石な経営基盤を得て、さらなる高度先進医療の実現を目指します。

これまで以上に、皆様方のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

令和2年4月 川真田 樹人

経歴

| | |
|-------|------------------------|
| 昭和61年 | 京都府立医科大学医学部医学科卒業 |
| 昭和61年 | 京都府立医科大学附属病院研修医 |
| 昭和62年 | 近江八幡市市民病院医師 |
| 昭和63年 | 札幌医科大学医学部研究生 |
| 昭和63年 | 旭川赤十字病院医師 |
| 昭和63年 | 市立旭川病院医師 |
| 平成3年 | 市立釧路総合病院医長 |
| 平成5年 | 医療法人東札幌病院医師 |
| 平成7年 | 北海道立札幌肢体不自由児総合療育センター医長 |

| | |
|-------|---|
| 平成9年 | イエール大学医学部麻酔科ポスドク研究員 |
| 平成11年 | 札幌医科大学医学部助手 |
| 平成12年 | 札幌医科大学医学部講師 |
| 平成19年 | 札幌医科大学附属病院医長 |
| 平成19年 | 信州大学医学部附属病院教授 |
| 平成26年 | 信州大学学術研究院教授 信州大学医学部附属病院副病院長 |
| 令和2年 | 信州大学医学部附属病院長（現職） 理事（病院、保健管理担当）、副学長（特命戦略（地域医療）担当）（現職） |

理事（特命戦略（大学経営力強化）担当）

トップ > 信州大学について > 大学概要・理念 > 役員一覧 > 理事(特命戦略(大学経営力強化)担当)

浜野 京



| | |
|-------|---------------------|
| 役職 | 理事(特命戦略(大学経営力強化)担当) |
| 就任年月日 | 平成28年 4月1日 |

経歴

| | |
|----------|--|
| 昭和54年 3月 | 慶應義塾大学文学部社会学科、及び新聞研究所卒業 |
| 昭和54年 4月 | 日本貿易振興会(ジェトロ、現(独)日本貿易振興機構)入会 |
| 平成11年 7月 | ジェトロ 本部 総務部広報課長 |
| 平成15年12月 | ジェトロ シドニー・センター 次長 |
| 平成18年 8月 | ジェトロ 本部 対日投資部 地域支援課長 |
| 平成20年 4月 | ジェトロ 本部 輸出促進・農水産部 輸出促進課長 |
| 平成21年 8月 | ジェトロ 本部 海外市場開拓部長 |
| 平成24年 7月 | ジェトロ 本部 生活文化・サービス産業部長 |
| 平成25年 6月 | ジェトロ 退職 |
| 平成25年 7月 | ジェトロ 理事(生活文化・サービス産業、展示事業、農水産食品産業分野、中国北東アジア、南西アジア地域担当、ミラノ万博日本館担当) |
| 平成27年10月 | 内閣官房 政策参与(クールジャパン戦略担当) ジェトロ 参与 |
| 平成28年 4月 | 内閣府 知的財産戦略推進事務局 政策参与(クールジャパン戦略担当)(現職) ジェトロ 評議員(現職) |
| 平成28年 4月 | 信州大学理事(非常勤、特命戦略(大学経営力強化)担当)(現職) |

監事

トップ > 信州大学について > 大学概要・理念 > 役員一覧 > 監事1

北原 政彦

| | |
|-------|----------|
| 役職 | 監事 |
| 就任年月日 | 令和2年9月1日 |

経歴

| | |
|----------|------------------------|
| 昭和52年 3月 | 静岡大学人文学部 卒業 |
| 昭和52年 4月 | 長野県職員採用 |
| 平成 8年 4月 | 同 総務部秘書課課長補佐 |
| 平成11年 4月 | 同 総務部国際課課長補佐 |
| 平成13年 4月 | 同 義務教育課調整幹兼課長補佐 |
| 平成15年 4月 | 同 松本地方事務所厚生課長 |
| 平成16年11月 | 同 県立駒ヶ根病院事務長 |
| 平成18年11月 | 同 衛生部県立病院課長 |
| 平成20年 4月 | 同 衛生部県立病院事業局次長 |
| 平成21年 4月 | 同 衛生部衛生参事 |
| 平成22年 4月 | 地方独立行政法人長野県立病院機構本部事務局長 |
| 平成23年 4月 | 長野県松本地方事務所長 |
| 平成25年 4月 | 長野県議会事務局長 |
| 平成27年 4月 | 地方独立行政法人長野県立病院機構副理事長 |
| 令和 2年 9月 | 信州大学監事(現職) |